



オーHD センター 日本の研究拠点概要

リサーチ・ディレクター 村井純
慶應義塾大学 環境情報学部 教授
SFC研究所 所長

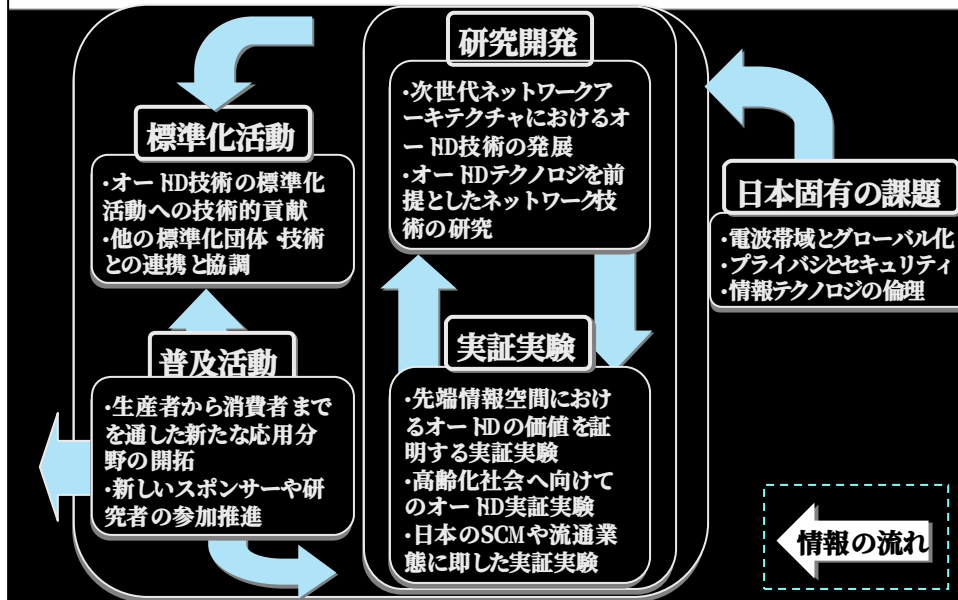


オーHDセンター・日本研究拠点の役割

- アジア初の拠点として、研究開発および普及啓蒙活動
 - MITをはじめとする他のセンターと協力
 - グローバルな視点を持った研究機関としての責任遂行
- ネットワークアーキテクチャを軸とした研究活動
 - 産官学によるインターネット研究プロジェクトWIDE との連携
 - 大規模SCMに対応するための基礎システムの構築
- 日本のスポンサー企業との協力によるオーHD技術の推進
 - スポンサー間での協議事項の調整
 - 産官学共同体制の確立
 - 共同研究の実施と研究員の受け入れ
- 日本における課題への取り組み
 - 制度的な課題
 - 周波数
 - 社会システムの課題
 - 日本の物流方式へのオーHDの導入
 - 高齢化社会への力強い貢献
- 日本から世界への貢献



オーHDセンター・日本研究拠点の活動分野



研究活動

- 情報空間のためのオーHD技術研究開発
 - 名前、ID(EPC)の管理手法
 - リーダ等システム要素の広域分散配置
 - メタデータ tag, リーダの分散管理機構
- オーHDのネットワークアーキテクチャ研究開発
 - システムの階層化と機能分化
 - クライアントソフトウェア用APIの提案
 - セキュリティとプライバシーの研究・開発
 - オープンなプラットフォームと高度なセキュリティの両立
- オーHDノードの研究開発
 - センサ複合型リーダ、マルチバンドリーダ
 - マルチバンドタグやセンサ付タグのような付加価値型タグ
- 関連する研究分野との連携



関連する研究分野との連携

- ネットワーク技術
 - IPv6 (次世代インターネット)
 - モバイルネットワーキング
 - 実空間インターネット
- 組み込みコンピュータ技術
- タグ技術
 - RFID(無線タグ)技術
 - ソースタギング技術
 - 既存タグ(バーコードなど)技術
- SCM関連
 - 次世代流通システム



実証実験

- 目的
 - 基礎技術およびオー HDシステムの検証
 - 日本のSCM体系へのオー HD導入
 - オー HDの小売店での利用
 - 社会と消費者サイドでのオー HDの利用
- 方針
 - 日本のセンターおよびスポンサー企業により運営
 - 実験を基にした新たな技術開発
 - 関連省庁との協調体制
- 概要
 - 日本独自の商慣習に即した実証実験
 - 風土、商習慣、システムの違いを考慮した独自システムの構築
 - 実証実験を行うスポンサー企業の支援
 - スポンサー間の連携の支援
 - 技術情報の提供
 - 産官学連携による大規模実験の実施



普及活動

- 実証実験を含めたプロモーション活動
 - デモンストレーションによるオー HD技術のプロモーション
- 新たな研究者やスポンサーの勧誘
 - 研究、普及を促進させるための活動
- オー HD技術の社会への周知

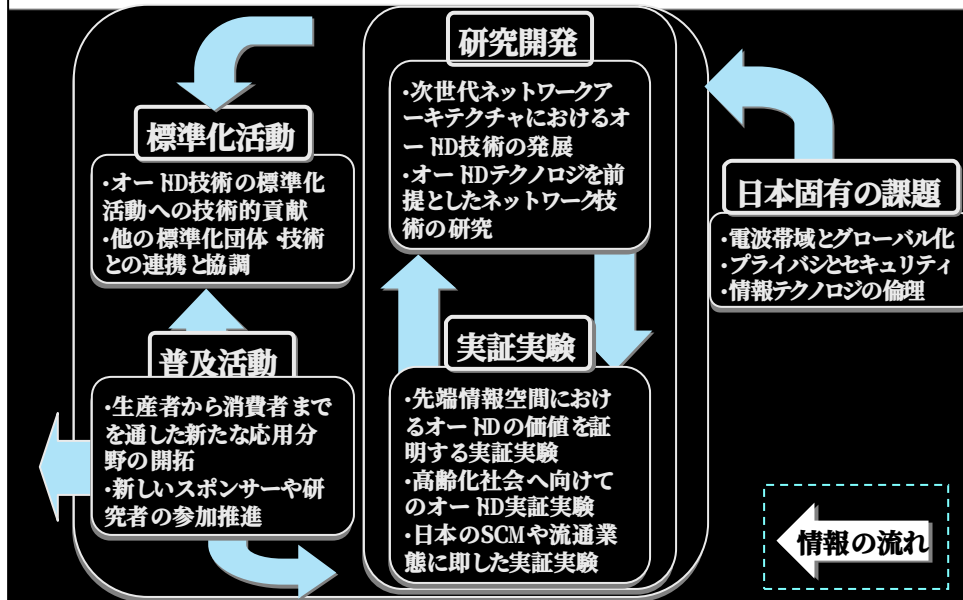


標準化活動

- オー HD技術標準の策定への参加
 - オー HD 技術標準化活動への貢献
- オー HD技術の国際標準化への活動
 - MITやその他の拠点とともに推進
- 日本国内での応用産業との連携
 - 他の関連する標準化活動への参加



オーHDセンター・日本研究拠点の活動分野



www.autoidcenter.org

日本の研究拠点に関するお問合せ先
autoid-info@sfc.wide.ad.jp